○広島修道大学人間環境学部履修細則

第1章 総則

(趣旨)

- 第1条 この細則は、広島修道大学学則(以下「学則」という。)に基づき、人間環境学部 学生の履修及び単位の認定に必要な事項を定める。
- 2 本細則に定めるもののほか、必要な事項については、人間環境学部教授会の議を経て定める。

(単位算定基準)

- 第2条 各授業科目の単位算定基準は、15時間の授業をもって1単位、30時間の授業をもって2単位、60時間の授業をもって4単位とする。ただし、別表1において1単位と定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、講義と実習を組み合わせて行う授業科目の単位数は、実習に当てる授業時間数を換算して前項本文の基準により定める。

(科目区分と卒業所要単位数)

第3条 人間環境学部の科目区分は、修道スタンダード科目、グローバル科目、共通教育科目、主専攻科目、自由選択科目とし、卒業には、次表の各科目分類ごとの所要単位数を満たし、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分		科目分類	修得	-単位数	卒業所要単位数
修道スタンダード科	全学共	通科目	6単位以上		124単位以上
目					
グローバル科目	留学生	教育科目			
	留学支持	援教育科目			
	国際共作	修科目			
共通教育科目	教養科	養科目		22単位以上	
	外国語	英語	6単位以上		
	科目	初修外国語	2単位以上		
	保健体	育科目			
主専攻科目	入門科	目	16単位以	62単位以上	
			上		
	基礎科	I	16単位以		
			上		

	発展科目	4単位	以上		
	フィールド科目		6単		
	ゼミナール科目	4単	位以		
		位以	上		
		上			
	関連科目				
自由選択科目					

(配当年次、単位修得)

- 第4条 学則第10条第1項別表2の授業科目のうち、人間環境学部授業科目の配当年次、単位修得についての詳細は、別表1、別表2及び別表3の授業科目配当表に定める。
- 2 本細則別表 2 については、2006年度以前に入学した者に適用する。
- 3 本細則別表 3 については、2007年度以降2010年度以前に入学した者に適用する。 第 2 章 履修科目の登録、履修方法及び制限

(履修科目の登録)

- 第5条 学生は、前条の授業科目の中から履修科目を選択し、指定登録日に所定の履修手続きにより、履修科目を登録しなければならない。
- 2 履修科目の選択は、別表1の授業科目配当表に従い行わなければならない。
- 3 第1項の履修登録は、本細則に定めるもののほか、履修指導に従って行わなければならない。
- 4 第1項の履修登録において、同一科目名称の授業科目及び既に単位を修得した授業科目 については履修登録を行うことができない。ただし、副題の異なる同一授業科目の履修に ついては、この限りでない。
- 5 演習、ゼミナール、卒業研究及びインターンシップ等、別に定める授業科目を履修する 場合は、担当教員の承認を受けて登録しなければならない。

(授業科目の履修)

- 第6条 授業科目の履修は特別な場合を除き、授業科目配当表に定められた年次で履修しなければならない。ただし、再度履修する場合は、その限りではない。
- 2 前項の規定にかかわらず、長期履修学生は授業科目配当表に定められた年次以上の年次で履修することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、教育上必要と認められる場合(編入学、学士入学、転部、 休学、留学、再入学等の場合)には、学生の在籍する配当年次と異なる授業科目の履修登

録を認めることがある。

(他学部授業科目の履修)

- 第7条 学則第13条第4項により、他学部の授業科目を履修することができる。
- 2 前項により修得した単位を第3条のうちの自由選択科目として、卒業所要単位数に算入することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、所属学部に開設されている授業科目については、他学部の 授業科目として履修することができない。

(履修単位数の制限)

- 第8条 学生が1年間に履修し得る単位数は、他学部の授業科目も含め、各年次とも44単位を超えることができない。
- 2 学生が前期又は後期に履修し得る単位数は、通年科目を除いて、24単位を超えること ができない。
- 3 学則第10条第1項別表2(その9)の授業科目の単位数は、第1項及び第2項に定め る履修単位数に含まないものとする。
- 4 編入学生及び学士入学生の履修登録単位数は、第1項及び第2項にかかわらず単位認定 後に定める。

(人間環境学部専門コース)

第9条 人間環境学部の主専攻科目にコース制を設置し、学生が所定の単位を修得した場合にコース修了を認定する。コースの種類、コース修了認定単位数その他必要な事項については別に定める。

(副専攻コース)

第10条 他学部が副専攻として提供する授業科目を履修し、合計30単位以上修得した者は副専攻コースを修了したものとする。

(英語副専攻コース)

第11条 共通教育科目外国語科目英語及び主専攻科目英語のうちから合計24単位以上修得し、指定の外部資格を取得した者は英語副専攻コースを修了したものとする。

(グローバルコース)

第12条 別に定める授業科目のうちから、国際理解科目6単位以上、英語トレーニング科目24単位以上の合計30単位以上を修得し、指定の留学プログラム及びサービスラーニングにより24単位以上を修得した者はグローバルコースを修了したものとする。

(検定試験等の単位認定)

- 第13条 学生が別に定める検定試験等に合格したとき又は所定の成果をあげたときは、これに係る学修につき所定の単位を認定することがある。
- 2 前項の単位認定を希望する学生は、各学年の指定期間内に、所定の検定試験等単位認定 申請書により願い出なければならない。
- 3 第1項により認定された単位は、所定の授業科目群の卒業所要単位に算入する。 第3章 試験、単位認定及び成績評価

(試験及び単位認定)

- 第14条 各授業科目に対する単位の認定は、原則として広島修道大学試験細則に定める試験によって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、授業科目担当教員により、次に掲げるいずれかによって単位 の認定を行うことができる。
 - (1) 平常の成績
 - (2) 課題研究報告書
 - (3) 平常の成績及び課題研究報告書

(成績評価)

- 第15条 成績評価は、学則第18条の定めにより行う。なお、Xは評価不能を示すものとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、広島修道大学既修得単位認定細則第2条第4項に基づき一括 して認定するものについては、その成績評価をNとする。

第4章 その他

(事務担当)

第16条 この細則に関する事務は、教学センターが担当する。

(細則の改廃)

第17条 この細則の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附則

- 1 この細則は、2002年4月1日から施行する。
- 2 この細則は、2006年11月2日に全面改正し、2007年4月1日から施行する。ただし、2006年度以前に入学した者については、第2条、第5条第1項を除き改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとし、改正前の第4条別表に加え、改正後の第4条別表2の授業科目についても履修できるものとする。
- 3 この細則は、2010年3月4日に第8条第2項を改正し、第6条に第2項を新たに付け加え、第5条第5項、第8条第5項及び同条第6項を削り、第5条第6項を繰り上げ、

- 2010年4月1日から施行する。ただし、第5条第5項は、改正後の規定にかかわらず、 2009年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
- 4 この細則は、2010年9月9日に第2条、第3条、第4条別表1、第5条及び第8条を改正し、第2条に第2項を、第6条に第3項を新たに付け加え、第9条及び第10条を削り、以下条項を繰り上げて2011年4月1日から施行する。ただし、2010年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この細則は、規程等整理の方針に基づき、2011年9月29日に改正し、同日から施行する。
- 6 この細則は、2011年9月29日に第4条第1項を改正し、第4条に第3項及び同条別表 3を新たに付け加え、2012年4月1日から施行する。
- 7 この細則は、2011年10月27日に第4条第1項別表1を改正し、2012年4月1日から施行する。ただし、2011(平成23)年度以前に入学した者については、新しく追加した「キャリアデザイン」を2011(平成23)年度入学生に遡及適用することを除き、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 8 この細則は、2013年3月7日に第12条から第13条を改正し、第14条から第17条までを 削り、以下条数を繰り上げて2013年4月1日から施行する。
- 9 この細則は、2014年1月9日に第4条第1項別表1、第9条及び第10条を改正し、新たに第10条の次に2条を加え、以下条数を繰り下げて、2014年4月1日から施行する。 ただし、2013年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 10 この細則は、2015年8月6日に第4条第1項別表1を改正し、2016年4月1日から施行する。ただし、2013年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 11 この細則は、2015年9月3日に第16条を改正し、2015年10月1日から施行する。
- 12 この細則は、2016年11月10日に第3条、第4条第1項別表1及び第10条を改正し、2017 年4月1日から施行する。ただし、2016年度以前に入学した者については、改正後の規 定にかかわらず、なお従前の例による。
- 13 この細則は、2016年12月1日に第3条及び第4条別表1を改正し、2017年4月1日から施行する。ただし、2016年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 14 この細則は、2017年2月9日に第4条別表1を改正し、2017年4月1日から施行する。

ただし、2016年度以前に入学した者については、「長期インターンシップA」、「長期インターンシップB」、「長期インターンシップ事前・事後指導」を遡及適用するほかは、 改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 15 この細則は、2017年12月6日に第3条、第4条第1項別表1及び第8条第1項を改正し、新たに第8条の次に1条を加え、第9条から第11条までの条数を繰り下げ第12条を削り、2018年4月1日から施行する。ただし、2017年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 16 この細則は、2019年3月1日に第8条第3項を改正し、2019年4月1日から施行する。 ただし、2018年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前 の例による。
- 17 この細則は、2019年4月4日に第3条及び第4条第1項別表1を改正し、2020年4月 1日から施行する。ただし、2019年度以前に入学した者については、改正後の規定にかか わらず、なお従前の例による。
- 18 この細則は、2020年2月7日に第2条第1項、第4条第1項及び第5条第2項の別表 1を改正し、2020年4月1日から施行する。ただし、2019年度以前に入学した者について は、「広島の事業承継を学ぶ」を遡及適用するほかは、改正後の規定にかかわらず、なお 従前の例による。

別表1 (第2条、第4条及び第5条第2項関係)

人間環境学部授業科目配当表

科	科目分類	授業科目の名称	単位	立数	配当年次	備考
目			必	選		
区			修	択		
分						
修	全学共通	修大基礎講座		2	1	(1)全学共通科目につい
道	科目	初年次セミナー		2	1	ては6単位以上修得しな
ス		情報処理入門 I	2		1	ければならない。
タ		情報処理入門Ⅱ		2	1 • 2 • 3 • 4	(2)修大基礎講座及び初
ン		情報応用		2	2 · 3 · 4	年次セミナーは原則と
ダ		大学生活とキャリア形成		2	2	して1年次に、大学生活
_		広島の事業承継を学ぶ		2	2 · 3 · 4	とキャリア形成は原則
ド						として2年次に履修する

1					
科					ものとする。
目					(3)修大基礎講座は、再度
					の履修をすることがで
					きない。
					(4)情報処理入門Ⅱは情
					報処理入門Iの単位を
					修得していなければ履
					修できない。
					(5)大学生活とキャリア
					形成は、再々度の履修を
					することができない。
					(6)情報処理入門Ⅱ、及び
					情報応用については、副
					題の異なるものは複数
					履修することができる。
グ	留学生教	日本語 I	1	1 • 2 • 3 • 4	外国人留学生等のみ履
口	育科目	日本語Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 4	修可
_		日本語Ⅲ	1	1 • 2 • 3 • 4	
バ		日本語IV	1	1 • 2 • 3 • 4	
ル		日本語V	1	1 • 2 • 3 • 4	
科		日本語VI	1	1 • 2 • 3 • 4	
目		日本語VII	1	1 • 2 • 3 • 4	
		日本語VII	1	1 • 2 • 3 • 4	
		アカデミック日本語	2	1 • 2 • 3 • 4	
		ビジネス日本語	2	1 • 2 • 3 • 4	
		日本研究	2	1 • 2 • 3 • 4	
	留学支援	留学スタートアップ	1	1 • 2 • 3 • 4	海外研修A・B・C・D・
	教育科目	留学英語入門	2	1 • 2 • 3 • 4	Eについて、副題の異な
		英語圏留学入門	1	1 • 2 • 3 • 4	るものは複数認定する
		アジア圏留学入門	1	1 • 2 • 3 • 4	ことができる。

1	ĺ	,	ı	ĺ] I
		外国語としての日本語	2	1 • 2 • 3 • 4	
		留学フォローアップ	1	1 • 2 • 3 • 4	
		グローバル特講 I	2	1 • 2 • 3 • 4	
		グローバル特講Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 4	
		グローバル特講Ⅲ	2	$2 \cdot 3 \cdot 4$	
		グローバル特講IV	1	3 · 4	
		海外研修A	1	1 • 2 • 3 • 4	
		海外研修B	2	1 • 2 • 3 • 4	
		海外研修C	3	1 • 2 • 3 • 4	
		海外研修D	4	1 • 2 • 3 • 4	
		海外研修E	5	1 • 2 • 3 • 4	
	国際共修	Multicultural Project	2	1 • 2 • 3 • 4	
	科目	多文化交流プロジェクト	2	1 • 2 • 3 • 4	
共	教養科目	哲学	2	1 • 2 • 3 • 4	(1)共通教育科目につい
通		倫理学	2	1 • 2 • 3 • 4	ては教養科目、外国語科
教		美学	2	1 • 2 • 3 • 4	目、保健体育科目から22
育		芸術学	2	1 • 2 • 3 • 4	単位以上修得しなけれ
科		日本文学	2	1 • 2 • 3 • 4	ばならない。
目		西洋文学	2	1 • 2 • 3 • 4	(2)総合教養コースは卒
		日本語学	2	1 • 2 • 3 • 4	業までに合計1科目2単
		心理学	2	1 • 2 • 3 • 4	位のみ修得することが
		文化論	2	1 • 2 • 3 • 4	できる。
		文化人類学	2	1 • 2 • 3 • 4	
		日本史	2	1 • 2 • 3 • 4	
		東洋史	2	1 • 2 • 3 • 4	
		西洋史	2	1 • 2 • 3 • 4	
		地理学	2	1 • 2 • 3 • 4	
		社会学	2	1 • 2 • 3 • 4	
		法学	2	1 • 2 • 3 • 4	
		政治学	2	1 • 2 • 3 • 4	

				2	1 • 2 • 3 • 4	
		統計学		2	1 • 2 • 3 • 4	
		情報社会論		2	1 • 2 • 3 • 4	
		物理学		2	1 • 2 • 3 • 4	
		化学		2	1 • 2 • 3 • 4	
		生物学		2	1 • 2 • 3 • 4	
		環境科学		2	1 • 2 • 3 • 4	
		数学		2	1 • 2 • 3 • 4	
		教養講義		2	1 • 2 • 3 • 4	
		総合教養講義a		2	1 • 2 • 3 • 4	
		総合教養講義b		2	2 • 3 • 4	
		総合教養コース		2	1 • 2 • 3 • 4	
外	英	英語リスニング I	1		1 • 2 • 3 • 4	(3)英語科目については
玉	語	英語リスニングⅡ	1		1 • 2 • 3 • 4	6単位以上修得しなけれ
語		英語リスニングⅢ	1		1 • 2 • 3 • 4	ばならない。
科		英語リスニングIV	1		1 • 2 • 3 • 4	(4) 英語リスニング I ~
目		英語リスニングV	1		1 • 2 • 3 • 4	VI及び英語リーディン
		英語リスニングVI	1		1 • 2 • 3 • 4	グI~VIのうち、I・Ⅱ
		英語リーディング I	1			の科目は英語プレイス
		英語リーディング Ⅱ	1		1 • 2 • 3 • 4	メントのレベル1、Ⅲ・
		英語リーディングⅢ	1		1 • 2 • 3 • 4	Ⅳの科目はレベル2、
		英語リーディングIV	1		1 • 2 • 3 • 4	V・VIの科目はレベル3
		英語リーディングV	1		1 • 2 • 3 • 4	の学生のみ履修できる。
		英語リーディングVI	1		1 • 2 • 3 • 4	アクティブ・イングリッ
		アクティブ・イングリッシュ		1	2 · 3 · 4	シュI・Ⅱはレベル1の
		I				科目とし、レベル1の学
		アクティブ・イングリッシュ		1	2 · 3 · 4	生に限り履修できる。た
		П				だし、アクティブ・イン
		実用英語実習 I		1	1 • 2 • 3 • 4	グリッシュI又はⅡの
		実用英語実習Ⅱ		1	1 • 2 • 3 • 4	いずれかの単位を修得

英語ライティング研究 I 2 1・2・3・4 上にアップした場合も 英語ライティング研究 II 2 1・2・3・4 上にアップした場合も 英語が解研究 II 2 1・2・3・4 大修得のアクティブ・イングリッシュ I 又は II 英語が解研究 II 2 1・2・3・4 とができる。 英語読解研究 II 2 1・2・3・4 とができる。 英語離解研究 II 2 1・2・3・4 とができる。 英語離解研究 II 2 1・2・3・4 ル1の学生に限り履修できる。 英語離解研究 II 2 1・2・3・4 レバ・の科目とし、レベルの学生に限り履修できる。 英語離解研究 II 2 1・2・3・4 レバ・英語離解研究 I 英語解解研究 II 2 1・2・3・4 レバ・英語離解研究 I 東蓋部コミュニケーション研究 II 2 1・2・3・4 レバ・英語語 近郊完 I ~ IV、英語語 I ~ IV、資格英語 I ~ IV、資格英語 I ~ IV、安語語 I ~ IV、安語語 I ~ III の	1 1 1	1	ı	ı	1 1
英語ライティング研究IV 2 1・2・3・4 未修得のアクティブ・イングリッシュ I 又はII 英語読解研究 I 2 1・2・3・4 を引き続き履修することができる。 英語読解研究 II 2 1・2・3・4 とができる。 英語読解研究 II 2 1・2・3・4 とができる。 英語聴解研究 II 2 1・2・3・4 ルル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究 II 2 1・2・3・4 エール、英語読解研究 I 英語画 京立ニケーション研究 II 2 1・2・3・4 エール、英語語解研究 I J 1・2・3・4 大藤語コミュニケーション研究 I・IIの、英語語が完 I・IV、英語語が完 I・IV、英語語が完 I・IIのうち、I・IIの計画はレベル2の科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 エ・2・3・4 エース・3・4 エース・3・4 <td< td=""><td></td><td>英語ライティング研究 I</td><td>2</td><td>1 • 2 • 3 • 4</td><td>した学生は、レベル2以</td></td<>		英語ライティング研究 I	2	1 • 2 • 3 • 4	した学生は、レベル2以
英語記解研究 I 2 1・2・3・4 ングリッシュ I 又は II 英語読解研究 II 2 1・2・3・4 と別き続き履修することができる。 英語読解研究 II 2 1・2・3・4 実用英語実習 I・II はレベル1の科目とし、レベル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究 II 2 1・2・3・4 レの学生に限り履修できる。 英語聴解研究 II 2 1・2・3・4 レの学生に限り履修できる。 英語時不完 II 2 1・2・3・4 レの学生に限り履修できる。 英語サイティング研究 I へIV、英語読解研究 I へIV、英語読解研究 I へIV、英語調子ュニケーション研究 I ・2・3・4 レ、英語コミュニケーション研究 I ・2・3・4 レ、英語コミュニケーション研究 I ・1・2・3・4 III 英語コミュニケーション研究 I ・2・3・4 レ、レベル2・レベル3・レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル4の半生が履修できる。V・VIの科目と、東語語法研究 I ・2・3・4 センベル4の料目とし、レベル4の料目とし、レベル4の料目とし、レベル4の料目とし、レベル4の料目とし、レベル4の半生が履修できる。 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 センベル4の半生が履修できる。 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 センベル4の学生が履修できる。 大田の 方面に対し、アルマルイの学生が履修できる。 とし、アルマルイの学生が履修できる。 大田の 方面に対し、アルマルイの学生が履修できる。 とし、アルイの学生が履修できる。 大田の 方面に対しまたがより、アルマルイの学生が履修できる。 と、アルイの学生が履修できる。 <td></td> <td>英語ライティング研究Ⅱ</td> <td>2</td> <td>1 • 2 • 3 • 4</td> <td>上にアップした場合も</td>		英語ライティング研究Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4	上にアップした場合も
英語読解研究 I 2 1・2・3・4 を引き続き履修することができる。 英語読解研究 II 2 1・2・3・4 とができる。 実用英語実習 I・II はレベル1の科目とし、レベル1の科目とし、レベル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究 II 2 1・2・3・4 レの学生に限り履修できる。 英語夢イティング研究 英語職解研究 II 2 1・2・3・4 レバ、英語読解研究 I 英語 コミュニケーション研究 II 2 1・2・3・4 レIV、英語語解研究 I へIV、英語語が研究 I へIV、英語コミュニケーション研究 I・2・3・4 レバ、英語コン・ロケーション研究 I・IIのうち、I・IIの科目はレベル2の科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 セベル4の学生が履修できる。 ロバル4の学生が履修できる。 資格英語研究 II 2 1・2・3・4 セバル4の学生が履修できる。 大田 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 セバル4の学生が履修できる。 大田 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 セバル4の学生が履修できる。 大田 英語 法研究 II 2 1・2・3・4 セバル4の学生が履修できる。 大田 女 大田		英語ライティング研究Ⅲ	2	1 • 2 • 3 • 4	未修得のアクティブ・イ
英語就解研究II 2 1・2・3・4 とができる。 英語就解研究IV 2 1・2・3・4 実用英語実習 I・II はレベル1の科目とし、レベル1の科目とし、レベル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究II 2 1・2・3・4 レ1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究IV 2 1・2・3・4 IへIV、英語読解研究I 英語歌解研究IV 2 1・2・3・4 IへIV、英語課解研究I 英語コミュニケーション研究II 2 1・2・3・4 IV、英語記述研究IへVI、英語語法研究IへVI、英語語法研究IへVI、英語語法研究IIのうち、I・IIの科目はレベル2の科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル3の科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル3の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目は東語語法研究II 2 1・2・3・4 I・2・3・4		英語ライティング研究IV	2	1 • 2 • 3 • 4	ングリッシュ I 又はⅡ
英語読解研究II 2 1・2・3・4 実用英語実習 I・II はレベル1の科目とし、レベル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究II 2 1・2・3・4 ル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究II 2 1・2・3・4 I~IV、英語読解研究 I~IV、英語読解研究 I~IV、英語記解研究 I~IV、英語コミュニケーション研究 II 英語コミュニケーション研究 II 2 1・2・3・4 I~IV、英語語 法研究 I~IV、英語語法研究 I~IV、英語コミュニケーション研究 I~I·2・3・4 III 英語コミュニケーション研究 IV 2 1・2・3・4 I·1・2・3・4 IV 英語コミュニケーション研究 I~I·2・3・4 I·1・2・3・4 I·2・3・4 I·2・3・4 V 英語語法研究 I 2 1・2・3・4 I・2・3・4 I・		英語読解研究 I	2	1 • 2 • 3 • 4	を引き続き履修するこ
英語離解研究I 2 1・2・3・4 ベル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究II 2 1・2・3・4 大語聴解研究II 英語聴解研究II 2 1・2・3・4 エール、英語読解研究I 英語地解研究IV 2 1・2・3・4 エール、英語読解研究I ール、英語読解研究I ール、英語語書法研究I ール、英語語書法研究I ール、資格英語でまったケーション研究 II 英語コミュニケーション研究 2 1・2・3・4 研究I ール、資格英語ではできる。III・IIのうち、I・IIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・Nの科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・Nの科目はレベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目は、大部語法研究II 2 1・2・3・4 はレベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・2・3・4 はレベル4の学生が履修できる。 英語語法研究II 2 1・2・3・4 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究II 2 1・2・3・4 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 資格英語研究 I 1・2・3・4 はレベル4の学生が履修できる。		英語読解研究Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4	とができる。
英語聴解研究 I 2 1・2・3・4 ル1の学生に限り履修できる。 英語聴解研究 II 2 1・2・3・4 ズ語ライティング研究 英語聴解研究 II 2 1・2・3・4 I ~ IV、英語読解研究 I ~ IV、英語読解研究 I ~ IV、英語語解研究 I ~ IV、英語語 法研究 I ~ IV、英語語 法研究 I ~ IV、 資格英語 研究 I ~ IV、 資格英語 法研究 I ~ IV。 III 英語コミュニケーション研究 I · II の うち、 I · II の 科目はレベル2の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 III · IVの科目はレベル4の学生が履修できる。 III · IVの科目はレベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目 はレベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目 はレベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。 III · IVの · IV · IV · IV · IV · IV · IV		英語読解研究Ⅲ	2	1 • 2 • 3 • 4	実用英語実習Ⅰ・Ⅱはレ
英語聴解研究II 2 1・2・3・4 きる。 英語聴解研究IV 2 1・2・3・4 I ~IV、英語読解研究 I ~IV、英語読解研究 I ~IV、英語或解研究 I ~IV、英語可以 其語話 [I ~IV、英語式解研究 I ~IV、英語可以 其語話 [I ~IV、资格英語] ~IV、英語式 [I ~IV、资格英語] ~IV、英語式 [I ~IV、资格英語] ~IV、英語式 [I ~IV、资格英语] ~IV、资格英语] ~IV、资格英语] ~IV、资格英语] ~IV、英語式 [I ~IV] ~IV、资格英语] ~IV、 [II] ~IV] ~IV、 [II] ~IV]		英語読解研究IV	2	1 • 2 • 3 • 4	ベル1の科目とし、レベ
英語聴解研究II 2 1・2・3・4 英語ライティング研究 I ~IV、英語読解研究 I ~IV、英語聴解研究 I ~IV、英語可ミュニケーション研究 II 支語コミュニケーション研究 II 2 1・2・3・4 IV、英語聴解研究 I ~IV、英語語 法研究 I ~IV、英語語 法研究 I ~IV、英語語 法研究 I ~IV、英語語 法研究 I ~IV及び英語プレゼンテーション研究 III 英語コミュニケーション研究 IV 2 1・2・3・4 IIIのうち、I・IIの 科目はレベル2の科目と し、レベル2・レベル3・レベル4の学生が履修で きる。 III・IVの科目はレベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 II・2・3・4 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 セベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。 II・2・3・4 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 セベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。 II・2・3・4 英語語法研究 II 2 1・2・3・4 セベル4の学生が履修できる。 V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。 OII・IIIの表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表		英語聴解研究 I	2	1 • 2 • 3 • 4	ル1の学生に限り履修で
英語聴解研究IV 2 1・2・3・4 I ~IV、英語聴解研究 I 英語コミュニケーション研究 II 2 1・2・3・4 I ~IV、英語聴解研究 I ~IV、英語聴解研究 I ~IV、英語語 法研究 I ~VI、英語語法研究 I ~IV、英語語 法研究 I ~VI、英語語法研究 I ~VI、英語語 法研究 I ~VI、英語語 法研究 I ~VI及び英語プレゼンテーション研究 I · 2・3・4 政語コミュニケーション研究 IV 2 1・2・3・4 I · II の うち、I · II の 科目はレベル2の科目と し、レベル2・レベル3・レベル4の学生が履修で きる。 III · IVの科目はレベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目はレベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目はレベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目はレベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目はレベル4の学生が履修できる。 V · VIの科目と、レベル4の学生が履修できる。 C · VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。 C · VI ·		英語聴解研究Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4	きる。
英語コミュニケーション研究 I 2 1・2・3・4 IV、英語聴解研究 I ~ IV、英語語 コミュニケーション研究 I ~ IV、英語語 法研究 I ~ IV、英語語 法研究 I ~ IV、資格英語		英語聴解研究Ⅲ	2	1 . 7 . 2 . 4	
大語コミュニケーション研究 1・2・3・4 IV、英語コミュニケーション研究 2 1・2・3・4 IV、英語コミュニケーション研究 1・2・3・4 法研究 I ~VI 及び英語プレゼンテーション研究 I・II のうち、I・II の 科目はレベル2の科目と し、レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目はレベル3の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。		英語聴解研究IV	2	1 • 2 • 3 • 4	I ~Ⅳ、英語読解研究 I
英語コミュニケーション研究 1・2・3・4 コン研究 I ~VI、英語語 法研究 I ~VI 及び英語プレゼンテーション研究 1・2・3・4 ログラン ログラン ログラン ログラン ログラン ログラン ログラン ログラン		英語コミュニケーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	~Ⅳ、英語聴解研究 I ~
英語コミュニケーション研究21・2・3・4法研究 I ~IV、資格英語英語コミュニケーション研究21・2・3・4レゼンテーション研究TVエ・IIのうち、I・IIの科目はレベル2の科目とし、レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目はレベル4の学生が履修できる。V・VIの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。英語語法研究II21・2・3・4はレベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。英語語法研究IV21・2・3・4はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。		I			IV、英語コミュニケーシ
II		英語コミュニケーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	ョン研究 I ~VI、英語語
世界語コミュニケーション研究		П			法研究 I ~Ⅳ、資格英語
III		英語コミュニケーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	研究 I ~VI及び英語プ
東語コミュニケーション研究 2 1・2・3・4 科目はレベル2の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目、サ語語法研究II 英語語法研究II 2 1・2・3・4 はレベル4の学生が履修できる。V・VIの科目はレベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。		Ш			レゼンテーション研究
IV 英語コミュニケーション研究 V 英語コミュニケーション研究 VI 英語語法研究 I 英語語法研究 II 英語語法研究 II 英語語法研究 II 英語語法研究 II 英語語法研究 II 英語語法研究 II 英語語法研究 II 英語語法研究 II 英語語法研究 II クロップ 2 1・2・3・4 2 1・2・3・4		英語コミュニケーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	I·Ⅱのうち、I・Ⅱの
英語コミュニケーション研究 2 1・2・3・4 レベル4の学生が履修できる。III・IVの科目はレベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目英語語法研究II 英語語法研究II 2 1・2・3・4 はレベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究IV 2 1・2・3・4 はレベル4の学生が履修できる。		IV			
V 英語コミュニケーション研究 2 1・2・3・4 きる。Ⅲ・Ⅳの科目はレベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。 V・Ⅵの科目 はレベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究Ⅲ 2 1・2・3・4 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究Ⅳ 2 1・2・3・4 とのアル4の学生が履修できる。		英語コミュニケーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	
英語コミュニケーション研究 VI 2 1・2・3・4 ベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履 修できる。V・VIの科目 集語語法研究II 英語語法研究II 2 1・2・3・4 英語語法研究IV 英語語法研究IV 2 1・2・3・4 セベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 支語語法研究IV 2 1・2・3・4 セベル4の学生が履修できる。		V			
VI 2 1 · 2 · 3 · 4 ル3・レベル4の学生が履修できる。V・VIの科目修できる。V・VIの科目をし、はレベル4の科目とし、はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究II 2 1 · 2 · 3 · 4 はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。 英語語法研究IV 2 1 · 2 · 3 · 4 とはレベル4の学生が履修できる。		英語コミュニケーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	-
英語語法研究 I		VI			
英語語法研究Ⅲ 2 1・2・3・4 はレベル4の科目とし、 英語語法研究Ⅳ 2 1・2・3・4 レベル4の学生が履修で 資格英語研究Ⅰ 2 1・2・3・4 きる。		英語語法研究 I	2	1 • 2 • 3 • 4	,
英語語法研究Ⅲ 2 1·2·3·4 英語語法研究Ⅳ 2 1·2·3·4 資格英語研究 I 2 1·2·3·4 資格英語研究 I 2 1·2·3·4		英語語法研究Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4	
英語語法研究IV 2 1・2・3・4 きる。 資格英語研究 I 2 1・2・3・4 1・2・3・4		英語語法研究Ⅲ	2	1 • 2 • 3 • 4	,,,,, = -,
資格英語研究 I 2 1・2・3・4		英語語法研究IV	2	1 • 2 • 3 • 4	
資格英語研究 II 2 1・2・3・4		資格英語研究 I	2	1 • 2 • 3 • 4	さる。
		資格英語研究Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4	

	資格英語研究Ⅲ	2	1 • 2 • 3 • 4	
	資格英語研究Ⅳ	2	1 • 2 • 3 • 4	
	資格英語研究V	2	1 • 2 • 3 • 4	
	資格英語研究VI	2	1 • 2 • 3 • 4	
	英語プレゼンテーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	
	Ι			
	英語プレゼンテーション研究	2	1 • 2 • 3 • 4	
	П			
初	ドイツ語 I	1	1 • 2 • 3 • 4	(5) 初修外国語科目につ
修	ドイツ語Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 4	いては2単位以上修得し
外	ドイツ語Ⅲ	1	1 • 2 • 3 • 4	なければならない。
玉	ドイツ語IV	1	1 • 2 • 3 • 4	(6)言語と文化 I ~IV及
語	フランス語 I	1	1 • 2 • 3 • 4	び上級外国語Ⅰ・Ⅱは当
	フランス語Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 4	該外国語の I ~IVの4単
	フランス語Ⅲ	1	1 • 2 • 3 • 4	位を修得していなけれ
	フランス語IV	1	1 • 2 • 3 • 4	ば履修できない。
	スペイン語 I	1	1 • 2 • 3 • 4	
	スペイン語Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 4	
	スペイン語Ⅲ	1	1 • 2 • 3 • 4	
	スペイン語IV	1	1 • 2 • 3 • 4	
	中国語 I	1	1 • 2 • 3 • 4	
	中国語Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 4	
	中国語Ⅲ	1	1 • 2 • 3 • 4	
	中国語IV	1	1 • 2 • 3 • 4	
	韓国・朝鮮 語 I	1	1 • 2 • 3 • 4	
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 4	
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1	1 • 2 • 3 • 4	
	韓国・朝鮮語IV	1	1 • 2 • 3 • 4	
	言語と文化 I	2	2 · 3 · 4	
	言語と文化Ⅱ	2	2 · 3 · 4	

ı				I		I	I
			言語と文化Ⅲ	2	2 · 3 · 4		
			言語と文化IV	2	2 · 3 · 4		
			上級外国語 I	2	2 · 3 · 4		
			上級外国語Ⅱ	2	2 · 3 · 4		
	保健	体育	健康科学論	2	1 • 2 • 3 • 4	(7)健康スポーツ	実習、運
	科目		運動科学論	2	1 • 2 • 3 • 4	動スポーツ実習、	野外運
			健康科学演習	2	1 • 2 • 3 • 4	動実習Ⅰ、野外遊	重動実習
			運動科学演習	2	1 • 2 • 3 • 4	Ⅱは卒業までに行	合計8単
			健康スポーツ実習	1	1 • 2 • 3 • 4	位まで修得するこ	ことが
			運動スポーツ実習	1	1 • 2 • 3 • 4	できる。	
			野外運動実習I	1	2 · 3 · 4		
			野外運動実習Ⅱ	1	2 • 3 • 4		
主	入門	科目	人間環境学概論	2	1 • 2	入門科目につい	入門科
専			環境と開発	2	1 • 2 • 3 • 4	ては16単位以上	目、基礎
攻			環境法入門	2	1 • 2 • 3 • 4	修得しなければ	科目、発
科			環境事例入門	2	1 • 2 • 3 • 4	ならない。	展科目、
目			環境と政治・行政	2	1 • 2 • 3 • 4		フィー
			環境経済学入門	2	1 • 2 • 3 • 4		ルド科
			環境経営論入門	2	1 • 2 • 3 • 4		目、ゼミ
			環境地理学概論	2	1 • 2 • 3 • 4		ナール
			環境コミュニケーション入門	2	1 • 2 • 3 • 4		科目、関
			環境キャリアと社会	2	1 • 2 • 3 • 4		連科目
			資源・エネルギー論	2	1 • 2 • 3 • 4		から62
			科学技術と倫理	2	1 • 2 • 3 • 4		単位以
			科学技術社会論	2	1 • 2 • 3 • 4		上修得
			会計学入門	2	1 • 2 • 3 • 4		しなけ
			経済学入門	2	1 • 2 • 3 • 4		ればな
			経営学入門	2	1 • 2 • 3 • 4		らない。
			社会統計学入門	2	1 • 2 • 3 • 4		
			保全生物学入門	2	1 • 2 • 3 • 4		

I	I	1 1	1	1
	日本語運用論	2	1 • 2 • 3 • 4	
	日本語の技術 a	1	1 • 2 • 3 • 4	
	日本語の技術 b	1	1 • 2 • 3 • 4	
	身体のしくみと健康	2	1 • 2 • 3 • 4	
	論理的思考	2	1 • 2 • 3 • 4	
	入門特殊講義	2	1 • 2 • 3 • 4	
基礎科目	環境法	2	2・3・4 基礎科	目につい
	循環型社会政策論	2	2・3・4 ては169	単位以上
	環境ビジネス論	2	2・3・4 修得し7	なければ
	環境監査論	2	2・3・4 ならない	,
	環境アセスメント	2	2 • 3 • 4	
	環境マネジメントシステム	2	2 • 3 • 4	
	資源経済学	2	2 • 3 • 4	
	環境会計論	2	2 • 3 • 4	
	環境政策論	2	2 • 3 • 4	
	地域環境論	2	2 • 3 • 4	
	環境と農林水産業	2	2 • 3 • 4	
	環境教育論	2	2 • 3 • 4	
	環境NPO・NGO論	2	2 • 3 • 4	
	エコツーリズム論	2	2 • 3 • 4	
	里地里山学	2	2 • 3 • 4	
	環境倫理学	2	2 • 3 • 4	
	現代環境思想	2	2 • 3 • 4	
	環境変化と身体の応答	1	2 • 3 • 4	
	中国地方の自然環境	2	2 • 3 • 4	
	生命のしくみ	2	2 • 3 • 4	
	生物情報と環境	2	2 • 3 • 4	
	自然をみるa	1	2 • 3 • 4	
	自然をみるb	1	2 • 3 • 4	
	環境科学の基礎	2	2 • 3 • 4	

	生活科学論	2	2 · 3 · 4	
	パブリック・スピーキング	2	2 · 3 · 4	
	基礎特殊講義	2	2 • 3 • 4	
発展科目	比較環境法	2	3 · 4	発展科目につい
	環境と産業	2	3 · 4	ては4単位以上
	環境経営論	2	3 · 4	修得しなければ
	環境の経済評価	2	3 · 4	ならない。
	環境ガバナンス論	2	3 · 4	
	地球環境政策論	2	3 · 4	
	環境社会学	2	3 · 4	
	環境教育プランニング	2	3 · 4	
	食料環境システム論	2	3 · 4	
	水環境の生活化学	2	3 · 4	
	発展特殊講義	2	3 · 4	
フィール	環境プロジェクト	2	2 · 3 · 4	フィールド科目
ド科目	インターンシップ	2	2 · 3 · 4	とゼミナール科
	長期インターンシップA	4	2 · 3 · 4	目については、
	長期インターンシップB	8	2 · 3 · 4	ゼミナール科目
	長期インターンシップ事前・	1	2 · 3 · 4	を4単位修得し、
	事後指導			合わせて6単位
	自然解説実習	1	1 • 2 • 3 • 4	以上修得しなけ
	フィールド特殊講義	2	1 • 2 • 3 • 4	ればならない。
	フィールド特殊実習	1	1 • 2 • 3 • 4	
ゼミナー	プレ・ゼミナールa	2	2 · 3 · 4	
ル科目	プレ・ゼミナールb	2	2 · 3 · 4	
	環境ゼミナールa	2	3	
	環境ゼミナールb	2	3	
	卒業研究	4	4	
関連科目	交通論	2	2 · 3 · 4	英語ディスカッ
	NGO・NPO論	2	3 · 4	ションI~VI、

1 1	1	j	1	1	i
	ミクロ経済学 I	2	2 · 3 · 4	時事英語 I ∼Ⅵ	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2 · 3 · 4	及びビジネス英	
	マクロ経済学I	2	2 · 3 · 4	語I~Ⅵのう	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2 · 3 · 4	ち、I・Ⅱの科	
	経営学総論 I	2	2 · 3 · 4	目はレベル2の	
	経営学総論Ⅱ	2	2 · 3 · 4	科目とし、レベ	
	国際法	2	3 · 4	パン2・レベル3・	
	国際政治学		2 0 1	レベル4の学生	
	憲法 I			が履修できる。	
	憲法Ⅱ			Ⅲ・Ⅳ の科目は	
	英語ディスカッション I	2	1 • 2 • 3 • 4	レベル3の科目	
	英語ディスカッションⅡ	2	1 • 2 • 3 • 4	とし、レベル3・	
	英語ディスカッションⅢ	2	1 • 2 • 3 • 4	レベル4の学生	
	英語ディスカッションIV	2	1 • 2 • 3 • 4	が履修できる。	
	英語ディスカッションV	2	1 • 2 • 3 • 4	V・VIの科目は	
	英語ディスカッションVI	2	1 • 2 • 3 • 4	レベル4の科目	
	時事英語 I	2	1 • 2 • 3 • 4	とし、レベル4	
	時事英語Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4	の学生が履修で	
	時事英語Ⅲ	2	1 • 2 • 3 • 4	きる。	
	時事英語IV	2	1 • 2 • 3 • 4	海外研修I・	
	時事英語V	2	1 • 2 • 3 • 4		
	時事英語VI	2	1 • 2 • 3 • 4	について、副題 の異なるものは	
	ビジネス英語 I	2	1 • 2 • 3 • 4		
	ビジネス英語Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4	複数認定することができる。	
	ビジネス英語Ⅲ	2	1 • 2 • 3 • 4	C 1/2 C C C O O	
	ビジネス英語IV	2	1 • 2 • 3 • 4		
	ビジネス英語V	2	1 • 2 • 3 • 4		
	ビジネス英語VI	2	1 • 2 • 3 • 4		
	海外研修 I	1	1 • 2 • 3 • 4		
	海外研修Ⅱ	2	1 • 2 • 3 • 4		

海外研修Ⅲ	3	1 • 2 • 3 • 4	
海外研修IV	4	1 • 2 • 3 • 4	
海外研修V	5	1 • 2 • 3 • 4	

別表2 (第4条関係)

(1) 人間環境学科授業科目

科目分類		授業科目	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
教養科目		 美学		2	1 • 2 • 3 • 4	
	教養講義 2 1·2·3·				1 • 2 • 3 • 4	
外国語科目		言語と文化 I		2	2 · 3 · 4	
		言語と文化Ⅱ		2	2 · 3 · 4	
		言語と文化Ⅲ		2	$2 \cdot 3 \cdot 4$	
		言語と文化IV		2	2 · 3 · 4	
導入科目		情報処理		2	2 · 3 · 4	
		環境キャリアと社会a		1	1 • 2	
		環境キャリアと社会b		1	3 · 4	
基礎科目	自然理解科目	保全生物学入門		2	1 • 2 • 3 • 4	
		自然とつきあう		2	1 • 2 • 3 • 4	
		生物情報と環境		2	1 • 2 • 3 • 4	
	人間理解科目	こころの科学概論		2	1 · 2 · 3 · 4	
		人間生物学基礎		2	1 • 2 • 3 • 4	
基幹入門科目		環境と経済の統計学		2	1 • 2 • 3 • 4	
		管理会計入門		2	1 • 2 • 3 • 4	
		環境社会調査		2	1 • 2 • 3 • 4	
		環境戦略論		2	1 • 2 • 3 • 4	
		企業の社会的責任論		2	1 • 2 • 3 • 4	
		環境事例入門		2	1 · 2 · 3 · 4	
		環境政策論の基礎		2	1 · 2 · 3	
		環境と開発		2	1 · 2 · 3 · 4	
		基幹入門特殊講義		2	1 • 2 • 3 • 4	

基幹科目	環境社会系	民族と環境	2	1 • 2 • 3 • 4	
		人間関係論	2	$2 \cdot 3 \cdot 4$	
		言語と環境	2	2 · 3 · 4	
		環境社会系特殊講義	2	1 • 2 • 3 • 4	
	環境マネジメ	環境経営論	2	2 · 3 · 4	
	ント系	環境の経済評価	2	2 · 3 · 4	
		環境マネジメント系特	2	1 • 2 • 3 • 4	
		殊講義			
	環境政策系	環境政策系特殊講義	2	1 • 2 • 3 • 4	

別表3 (第4条関係)

(1) 人間環境学科授業科目

科目	分類	授業科目	単位	立数	配当年次	備考
			必修	選択		
共	外	アドバンスト英語		2	3 · 4	アドバンスト英語は、TOEICスコア
通	国	上級外国語 I		2	3 · 4	500以上又はTOEIC-Bridgeスコア154
教	語	上級外国語Ⅱ		2	3 · 4	以上の学生が履修できる。
育	科					上級外国語Ⅰ・Ⅱは、当該外国語のⅠ
科	目					~IVの4単位を修得していなければ履
目						修できない。
主	ゼ	長期インターンシッ		4	2 · 3 · 4	長期インターンシップA、長期インター
専	111	プA				ンシップB、長期インターンシップ事
攻	ナ	長期インターンシッ		8	2 · 3 · 4	前・事後指導については、副題の異な
科	_	プB				るものであっても複数履修することは
目	ル	長期インターンシッ		1	2 · 3 · 4	できない。
	科	プ事前・事後指導				
	目					